

- 令和6年3月の北陸新幹線金沢―敦賀間開業により、福井県へは国内客のみならずインバウンドの来訪増加が期待されるが、地域において、インバウンドに訴求する観光資源等の情報発信や受入面の環境整備が不十分だと考えられた。
- 本調査事業では、福井県内のインバウンドの動向調査等を実施し、そのニーズや課題等を踏まえ、周遊・滞在に向けた地域ならではの魅力を活かした体験ツアーの造成に取り組み、旅行者目線による検証や商品化へ向けた関係者目線でのコンテンツの磨き上げを実施。
- 今後の受入環境整備の推進と地域の魅力向上へ向けた方策を提案するとともに、観光関係者等のインバウンド対策の自走化へ向けたセミナーや勉強会等を開催した。

事業概要

## 1. 現状調査

- ・統計データ等を活用した基礎調査
- ・海外における意識調査
- ・地域におけるインバウンド受入状況調査
- ・観光案内所におけるヒアリング調査

## 2. 受入環境整備の実証実験

FIT向け

- ・体験ツアーの検証
- ・コンテンツの磨き上げ
- ・モニターツアーの実施



## 3. 関係者の機運醸成

- ・セミナー／勉強会の開催



## 今後の受入面の環境整備の推進と地域の魅力向上へ向けた方策

### ターゲット想定

海外における意識調査の対象国（台湾・香港・米国）のうち、米国からの福井への来訪経験・認知度が高く、今後、米国からの来訪が伸びる可能性あり



英語をメインとした滞在日数が長めの旅程を想定したプログラムの造成の検討

### 食の魅力発信

魅力ある食資源があるにもかかわらず、インバウンド市場に情報が届いていない



若狭牛や越前カニ・甘エビを食材としてではなく料理として紹介し、食べられる店・時期・場所等の詳細な情報を提供

### 体験コンテンツ

コンテンツの潜在力はあるため、いかに魅力的な商品化ができるかが重要



三方五湖などの「自然美」をキーワードにプログラムをブラッシュアップ  
三国提灯づくり体験など、「和」をテーマとしたコンテンツを通年で提供

### 集客戦略

金沢・京都・大阪からの旅行動線を踏まえ、旅程のどのタイミングで福井滞在を組み込めるか、ランドオペレーター・旅行会社との連携が重要



観光資源や体験と「福井」という地名を結び付けて、「福井」そのものの知名度を向上

### 多言語対応

通訳や英語ガイドを事業者側で配置するのは経済的な負担が大きい



エージェント手配による受入の場合は、通訳同行を履行条件とした良質なコンテンツの提供

### 受入機運の醸成

訪日外国人受入には、心理的なハードルと言語の問題など技術的なハードルがある



福井全体の機運を衰退させないため、受入に関するセミナーや勉強会等の継続